

HIMEJI MEDICAL CENTER



臨床研修医募集



独立行政法人 国立病院機構
姫路医療センター

安心・安全で質の高い医療の提供をします

就任のご挨拶

独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター 院長 河村 哲治



姫路医療センターは兵庫県中・西播磨医療圏の基幹病院で、地域の医療を支えている病院です。33の学会専門医認定施設の指定を受けており、臨床研究や学会活動も積極的に行っています。

当院の特徴は、症例数が豊富（肺癌入院患者数は全国上位、胸腔鏡下肺葉切除術では全国トップクラス、消化管癌では80－90%の内視鏡手術率、ESDは県下有数の症例数）なことから若い先生方にとって能率的な研修が可能であり、比較的短期間で各種専門医の条件をクリアできる環境にあります。

そして当院は国指定の「地域がん診療連携拠点病院」であり、様々な部位のがん診療について各診療科が安全で、確実で、低侵襲の治療の提供を目指しており、播磨地域で初のIMRT認定施設ともなっています。また一方、地域の救急医療にも積極的に貢献しており、DMAT活動やドクターカー運用にも数多くの経験を積んできています。

姫路市のほぼ中央、世界遺産姫路城の旧城郭の一角に位置し、美術館、歴史博物館等に隣接した閑静で緑豊かな環境にあります。このすばらしい環境の中で、当院の医療に携わりませんか。経験豊かなスタッフがあなたの研修をサポートします。

施設認定

施設認定一覧

日本内科学会認定内科専門医教育病院、日本呼吸器学会指導医・認定医制度研修施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本循環器病学会認定循環器専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度指定修練施設、日本消化器外科学会専門医研修施設、日本整形外科学会認定医研修施設、外科専門医専門研修関連施設（新専門医制度）、呼吸器外科専門医専門研修基幹施設（新専門医制度）、日本小児外科学会認定医研修施設、日本泌尿器学会専門医・指導医研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本放射線腫瘍学会認定放射線治療施設 他 19 件



信頼の技術、そして設備により思いやりのある最善の医療を提供します

姫路医療センターの特徴

がん治療から整形外科まで患者さんの体にやさしい低侵襲治療が得意な病院です。がん治療では、病院の過半数を占める呼吸器センター・消化器センターを中心に「がんの低侵襲治療」取り組んでいます。

呼吸器140床

肺がん入院患者数(手術・化学療法・放射線療法)全国上位

- 呼吸器内科(スタッフ20名)
年間2038名の肺がん患者に化学療法・放射線療法を施行
- 呼吸器外科(スタッフ8名)
肺がん手術 姫路医療センター
VATSの葉切除手術数では全国トップクラス

消化器85床

- 消化器内科(スタッフ11名)
兵庫県における内視鏡治療の中心的存在 ESDは県下有数の症例数
- 外科(スタッフ10名)
消化器外科領域 高い内視鏡手術率 70%
消化管がんでは 80-90%の内視鏡手術率
胃癌手術の完全体内吻合 発祥の地として全国的に有名

IMRT導入で正確な放射線治療

(耳鼻科：頭頸部がん 泌尿器科：前立腺がん)

耳鼻科でも咽喉頭がんには消化器内科と共同で経口的切除(ELPS)をおこない、声を奪わない治療に取り組んでいます。また、平成29年4月からは高精度IMRT専用装置を設置し、頭頸部がんや前立腺がんに正確な放射線治療が行えるようになりました。整形外科でも脊椎疾患に対して低侵襲治療を行っています。

呼吸器センター

2009年4月に新たに組織された呼吸器センターは、現在20名以上の呼吸器疾患を専門とする医師が診療に従事しています。内科的あるいは外科的治療という垣根を越えて、個々の患者さんに最適な治療が行なえるよう努力しています。内科的には豊富な知識と経験により、稀有な疾患や複雑で難解な病態に対しても適切な診断治療が行

えるようになりましたし、外科は日本有数の手術症例数を誇っています。特に、大きな切開をせずに行なう胸腔鏡手術は年間症例数、累積症例数とともに日本トップクラスです。近隣の医療施設の協力も得て、いっそう充実した診療を目指しています。

消化器センター

姫路医療センターでは2015年4月より消化器センターを開設しました。

消化器全般(食道・胃・小腸・大腸・肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓)の疾患を対象に、消化器内科と消化器外科がシームレスに連携し、一人一人の患者さんに、最適で体に優しい「低侵襲な治療」を提供し、「患者さんを楽にしっかり治す」ことを目指しています。

消化器内科では、内視鏡を用いた診断と治療に全力をあげて取り組んでいます。胃腸の内部から診断・治療を行う内視鏡技術の進歩はめざましく、かなりの疾患が内科

的に治療できるようになってきています。最新最良の医療を患者さんに提供できるように外科と連携を取りながら診療を行っています。

消化器外科では数多くの内視鏡手術(胸腔鏡手術・腹腔鏡手術)を 技術力が高く、経験豊富な医師が担当します。このため進行がんでも開腹手術と同等の安全性と質を維持した内視鏡手術が可能となっています。鼠径ヘルニアや胆石も腹腔鏡手術で早期退院を実現しています。

高精度放射線治療センター

当センターには2台の放射線治療装置があり、2台とも治療室内に確認用CTを併設し、高精度な位置精度管理に対応しており高精度放射線治療が実施可能です。強度変調放射線治療(IMRT)、画像誘導放射線治療(IGRT)、定位放射線照射を実施しています。

特に2017年4月に稼働したトモセラピー®-は全国で約50施設、西播地区では初の導入であり、複雑なIMRTが可能なることから、これまでは困難であった頭部、頸部、腹部などの治療が可能になりました。(西播地区で初めてIMRTの施設基準を取得しました。)

初期臨床研修医募集

研修目的

本研修プログラムの理念は、将来専門医を目指す前段階において、医師が一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療態度・技能・知識を身に付けることです。

十分なコミュニケーションの下に患者さんを全人的に診ることのできるよう、医師として必要な診療能力を身に付けることを目的としています。



研修プログラム



●厚生労働省の定める必修科目

内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療、一般外来

●選択科目

内科（呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、リウマチ科）、外科（消化器外科、乳腺外科）、呼吸器外科、救急科、麻酔科、整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科（頭頸部外科）、眼科、皮膚科、臨床検査科、小児科、産婦人科、精神科、放射線科、緩和ケア内科

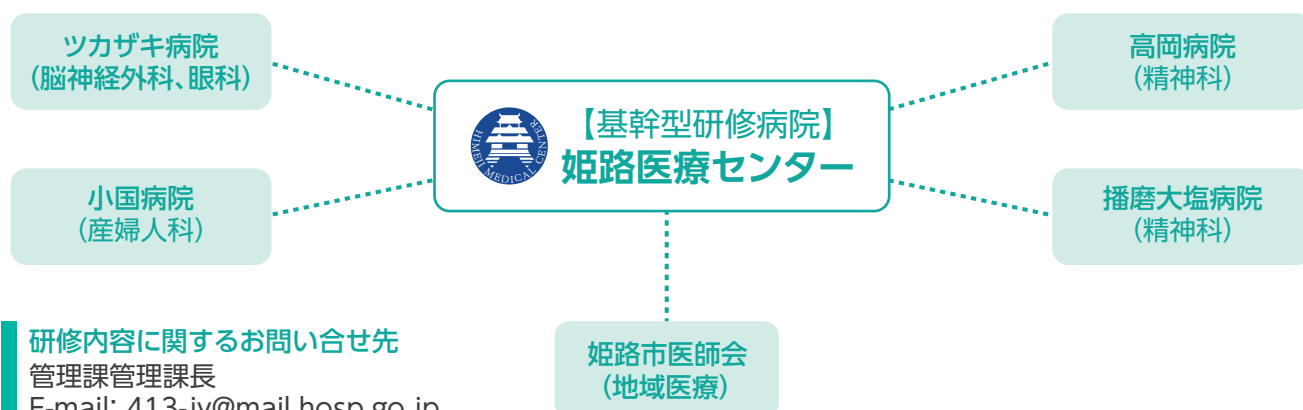
●研修プログラムの特徴

1年目の研修は内科24週（一般外来4週を含む）救急科・麻酔科12週、外科4週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週を回ります。内科では呼吸器内科、消化器内科、循環器内科を2ヶ月ずつ回り、並行して血液内科、糖尿病内分泌内科、リウマチ科の症例を受け持つこととなります。また、この間に一般外来を4週行います。救急科では、当院で導入しているドクターカーで、救急現場に急行して処置を行うこともあります。また、ICLSの取得も可能です。

当直は1年目の6月から指導医の指導のもと、救急等の初期対応を学ぶことができます。

2年目の研修は地域医療と個人の希望する科、時期、方法についてできるだけ要望に応じたプログラムを作っています。当院の主な特色として、呼吸器疾患については全国でも有数の施設であり、医師数、症例数、診療レベルともにトップクラスです。消化器疾患については内視鏡を用いた診断と治療により低侵襲な治療を提供しております。また、地域がん診療連携拠点病院に指定されており、内科、外科、放射線科では、がん診療の基本を一通り経験できます。

協力型研修病院及び研修施設



選択科診療科の紹介

呼吸器内科

癌や関節リウマチなどの治療が進歩する中、あらゆる診療科で呼吸器疾患の併発が問題となっており、呼吸器内科の需要が増す一方です。当科では、問診や身体所見、胸部単純写真・CT読影を基本に各種呼吸器疾患を学ぶことができ、気管支鏡検査を即体験できます。現在20名の大所帯で、播磨地域を含めた兵庫県西半分の呼吸器診療を担っていますが、特に肺癌と間質性肺疾患の診療においては最新の知識を踏まえた治療を実践しています。研修医の皆さんが将来どの診療科に進んでも必ず役に立つと思いますので、是非The lungを学びに来て下さい。

外科（消化器外科・乳腺外科）

上部・下部消化管、肝胆膵、乳腺の専門医と若手医師の指導により深く学ぶことが出来ます。消化器内科との連携で各症例を通じ受診から検査、手術、術後管理、退院までの思考と判断、手技を学んで頂きます。初期研修1年目は短い期間ですので外科の基本手技と思考過程を、2年目の外科選択では手術指導にも重点を置きますので将来外科を考えている方、もう少し外科を経験してみたい方、乳腺診療に興味のある方にもいい学びが出来ます。積極的に実際の手技、やって頂きます。何でも聞ける自由な雰囲気の中で積極的に明るく指導します。

整形外科

頭部と腹腔内以外のすべて、骨、関節、筋肉、脊椎などの運動器全般の治療をおこないます。特に脊椎外科、関節外科、手の外科を得意とし、内視鏡下でヘルニア摘出術、椎弓切除術、椎体間固定術による腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症に対する加療を行っています。また、当院はがん拠点病院であることから脊椎の転移性骨腫瘍による疼痛や麻痺なども各科との連携のもと多く加療しています。

救急科

当院では、2007年より、救命処置をより早く行うために医師を現場に派遣する「ドクターカー」を運用しています。当センターのドクターカーは当センターが所有し、病院スタッフにより運行する形態のもので、姫路市消防局及び周辺消防本部と連携して運用しています。プレホスピタル、災害医療に幅広く興味のある方は、ぜひ連絡してください。

呼吸器外科

当科は年間全麻症例数500例以上と全国でもトップレベルの症例数があり、その約9割をモニター視のみの胸腔鏡下で行っています。呼吸器外科で扱うほぼすべての疾患をカバーし、進行肺癌に対する拡大切除も積極的に行っています。他施設では、なかなか経験できない豊富な症例にふれて、足腰のつよい呼吸器外科医をめざしてみませんか。

いい病院2020 肺がん手術件数
全国データ6位 298件

消化器内科

中播磨医療圏の拠点病院であり患者数は非常に多いです。年間の検査件数は上部内視鏡4,000件、下部2,000件、ERCP250件です。早期癌の内視鏡治療ESDは年間150件で県下でも有数の処置数です。よって消化管・肝胆膵のあらゆる領域の疾患を研修できます。たくさんの急性腹症も経験できますし1年目から内視鏡の研修も行っています。内科系を専攻希望の方はぜひ見学に来てください。

放射線診断科

画像診断はどの診療科でも欠かせない技術であり、放射線科以外に進まれる方も基本を学ぶことはきっと役立つと思います。“担当患者さんが夜間休日に急変した！当直中に重症な感じの患者さんがやってきた！”そんなとき放射線科で研修した知識や経験が診断の一助になるかもしれません。ご興味があればぜひ。

形成外科

形成外科は「傷を早くきれいに治す」ことを目標とした体表の外科で、その対象は全身です。特に顔面に関しては、骨折や先天異常まで疾患は多岐にわたります。形成外科での研修は、形成外科的な縫合法や外傷の初期治療、植皮術やマイクロサージャリーを用いた遊離組織移植、美容形成外科的な手技など広く学ぶことができます。外科系に興味があって、キャリアの早い段階から手を動かしたい人にはぴったりの診療科です。

その他の診療科の紹介はウェブサイトをご覧ください。
<https://himeji.hosp.go.jp/>

Q&A



Q 研修の雰囲気教えてください。

A 少人数で和気あいあいとした雰囲気です。上級医も研修医同士も、特に垣根なく、聞きたいことが遠慮なく聞けることがいいところです。ですので、どんな人でも学ぶ気持ちがあればウエルカムです。

Q 実際の勤務時間を教えてください。

A 8:30 ~ 16:30 の 1 日 7 時間、週 5 日が所定労働時間です。8:00 ~ 8:30 に始まり、18:00 ~ 19:00 に終わる方が大半です。外科研修中は手術内容によっては遅い日もありますが連日ということはありません。

Q 休日は取れますか。

A 土曜、日曜及び祝日は原則休みです。重症患者の担当になれば検査結果の確認、緊急処置のために来院を要することはあります。また、月に 1 度程度は日直当直が入ります。

Q 当直業務について教えてください。

A 当直中は平均 5 件程度の患者対応をまずは初期研修医が行います。
・1 年目は 6 月頃から当直業務を開始し、少しずつ当直回数を増やしていきます。当直中は指導医がそばに
おり問診・診察・鑑別・検査など指導を受けながら行うことができます。ひっきりなしに患者が来るわけ
ではないので睡眠はある程度確保できることが多いです。
・2 年目になると鑑別・検査など 1 人で行うこともあります。最終的な治療・帰宅判断などは指導医と相談
しながら行います。きたる 1 人当直に向けて着実な訓練を積んでいきます。

Q 経験した症例の発表会がありますか。

A 年間を通じて持ち回りで症例検討会を学会発表形式で行います。経験した症例の考察だけでなく、症例提示
の仕方・スライドの作り方・文献検索の仕方などを上級医から 1 対 1 で教わるすることができます。

Q 勤務時間終了後はどのように過ごされていますか。

A 仕事を終えれば同期と食事に行く人、真っ直ぐ家に帰る人、居残りして調べものをする人など時間の過ごし
方は様々です。

Q 病院見学オススメの曜日を教えてください。

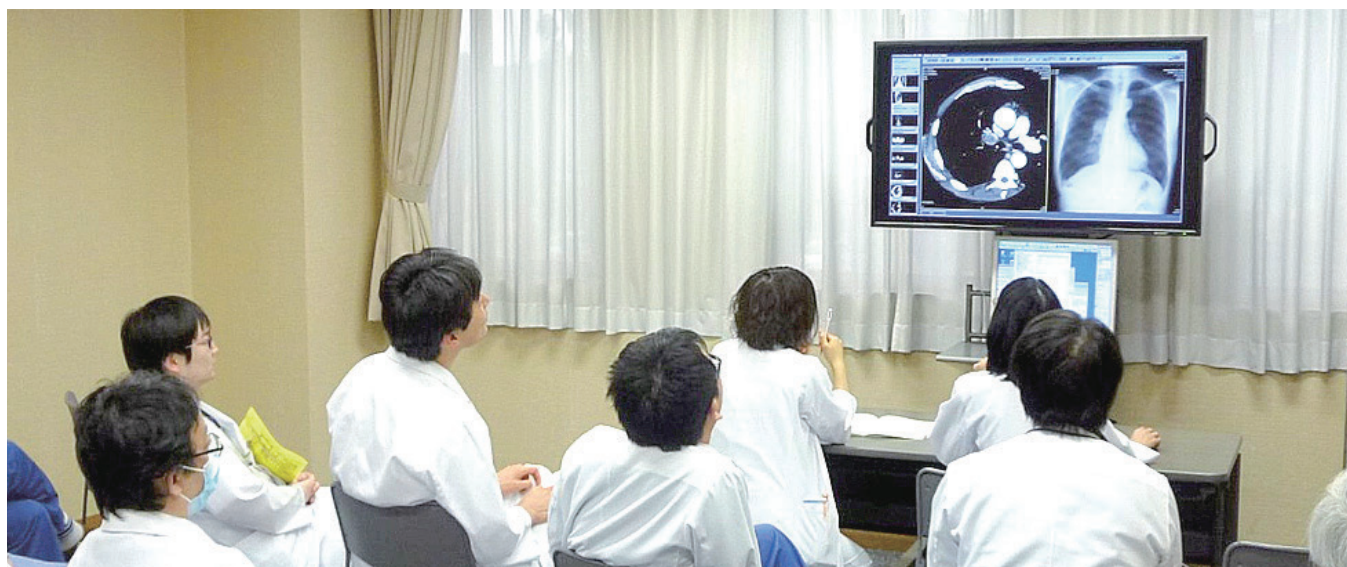
A

- ・呼吸器内科
月・水・金の気管支鏡の検査日がおすすめで、研修医がここまでできるというのがわかります。
- ・消化器内科
木曜が内視鏡の検査日がおすすめで、充実した見学が可能です。
- ・救急科
曜日を問いません、状況次第でドクターカーへの同乗経験ができ、研修医の躍動的な活躍も目の当たりに
できます。
- ・外科系の診療科
ご希望の診療科により手術日が異なります。手術見学だけでなくスタッフとの面談もセッティングします。
希望の診療科が決まっていなくても見学調整致しますので是非お越し下さい。
※どの科を選んでも研修医との時間は確保しているのでご安心ください。

Q 採用試験はどのようなものですか。

A 試験は面接官 3 人による面接のみです。筆記試験や小論文などはないため事前準備は必要ありません。面接
自体も和やかな雰囲気、当院を志望した理由など一般的な内容が主体ですので緊張らずに応募してください。





地域がん診療連携拠点病院

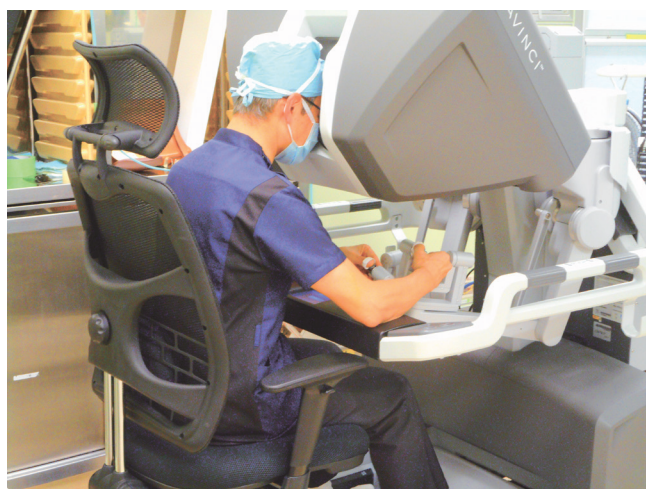
概要

姫路医療センターは、兵庫県知事の推薦を受け、厚生労働大臣から平成19年1月31日付けで「地域がん診療連携拠点病院」として指定を受けています。「地域がん診療連携拠点病院」とは、国の「第3次対がん10ヶ年総合戦略」にもとづき、全国どこでも質の高いがん医療を受けることができるよう、各地域におけるがん診療の連携の拠点としての診療機能の充実と診療体制の整備を行っている病院です。



ロボット支援手術

当院では2019年8月にインテュイティブ社の最新型手術支援ロボット「ダヴィンチXi」を導入しました。同年10月より泌尿器科の腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術を開始し、消化器外科の胃癌手術や呼吸器外科の胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術等を実施しております。現在当院では、消化器外科・呼吸器外科・泌尿器外科の3領域でロボット支援手術を施行しています。



救急医療（ドクターカー）

救命率はより早く処置を行った方が向上します。また、機能障害などを最小限に留めるためにも早期に医療が介入することが重要です。そのために、姫路医療センターで救命処置をより早く行うために医師を現場に派遣する「ドクターカー」の運用を行っています。

姫路医療センターのがん診療体制

当院では、手術・抗がん剤治療・放射線治療等の組み合わせや、緩和医療を含む複数診療科間における交互診療支援等による集学的治療が可能となっています。診療科ごとには、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療並びに応用的治療を行っています。セカンドオピニオンも実施しています。院内には、緩和医療を支援するため医師、薬剤師、看護師、ソーシャルワーカー等の多職種からなる医療緩和チームがあり、地域のかかりつけ医等との連携のもとに緩和医療を提供しています。地域医療機関からの紹介患者を積極的に受け入れており、また当院での治療後は、患者様の状態に適した医療機関等への逆紹介する等、地域の医療機関との連携を積極的に行っています。

設備的には集中治療室・無菌治療室を設置、また、外来化学療法室も整備し、外来での化学療法にも対応しており、スタッフもがん診療に関する専門性をもった医師、看護師を配置しています。その他、地域のかかりつけ医や医療従事者等を対象に、合同カンファレンスや勉強会を実施し、地域がん治療の進歩、向上に努めています。また、患者様やご家族からのさまざまな相談に対応していくため、がん診療相談窓口（がん支援相談室）を設けており、データ部門では、がん診療の状況を把握・分析するため、院内がん登録を行っています。

地域医療支援病院

平成24年に地域医療支援病院として承認され、地域連携や機能分担を推進しています。また地域医療連携室では、機能・役割の異なった病院、診療所がそれぞれの特色を活かし合い連携して、患者さまの診療を行うために、お手伝いさせていただきます。地域の医療機関が緊密に連携することによって、地域の先生方との交流・連携を深め、当院の医療サービス提供を円滑に行う事によって、患者さまはその時々々の症状等に応じて適切な医療機関で受診していただくことができます。

処遇等

初期臨床研修医

- 身分 期間職員(医師免許取得後2年間)
- 給与(月額) 基本給363,000円程度
(超過勤務手当、当直手当、別途支給)
- 賞与 有り
- 学会・研修会への参加費、旅費の支給有り
- 当直 月4回程度
(1年目の7月以降、上級医と共に担当します)
- 諸手当・保険等 国立病院機構期間職員就業規則が適用されます。
- 姫路市臨床研修医奨励金制度があります。(月額100,000円)

後期臨床研修医【専攻医】

- 身分 期間職員(初期臨床研修修了後3年間)
- 給与(月額) 基本給500,000円～530,000円程度
(超過勤務手当、当直手当、別途支給)
- 賞与 有り
- 学会・研修会への参加費、旅費の支給有り
- 当直 月2回程度
- 諸手当・保険等 国立病院機構期間職員就業規則が適用されます。
- 姫路市臨床研修医奨励金制度があります。(月額150,000円)

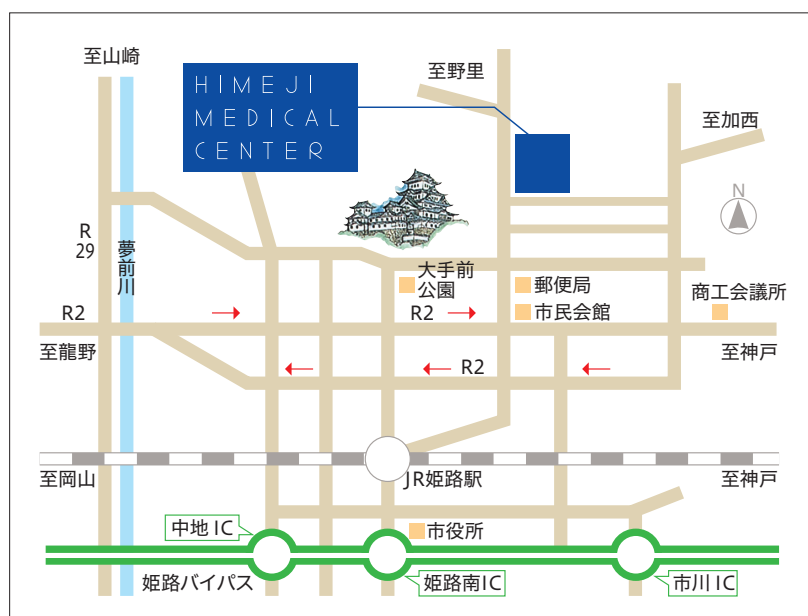
問い合わせ先・その他

〈初期臨床研修医募集についての問い合わせ先〉 管理課管理課長
〈後期臨床研修医募集についての問い合わせ先〉 管理課給与係長
TEL : 079-225-3211 E-mail : 413-jy@mail.hosp.go.jp

・出願手続き、選考日時についてはウェブサイトで確認してください。
https://himeji.hosp.go.jp/recruit/prg_syoki_rinsyokensyui.html



当院では随時病院見学を受け付けております。興味を持たれた方は、上記の担当宛までお問い合わせ下さい。



臨床研修医のための施設関係

臨床研修医室(医局4)

研修医室は冷暖房・無線LAN完備で、個人ごとに机・本棚・ロッカーが用意されており、研修しやすい環境が整っています。

臨床研修医宿舎

病院に隣接しております。
家賃月19,500円、キッチン、ユニットバス付のワンルームで、机・椅子・ベッド・テレビ・冷蔵庫・エアコンも完備しています。



独立行政法人 国立病院機構

姫路医療センター

〒670-8520 兵庫県姫路市本町 68 番地

TEL 079-225-3211